

# THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **730** August 2019

大原社会問題研究所雑誌

# 大原社会問題研究所雑誌

**730** 2019.8

七三〇号

【特集】薬害スモン関係資料の整理と活用

二〇一九年八月

## Special Issue : Archiving and Utilizing Materials Related to SMON Incident (drug-induced diseases)

- Introduction to the Special Issue ..... SHIMIZU Yoshihito
- Significance and Issues of Releasing the Nationwide Liaison Council for Associations of SMON Victims, SMON Incident Collection ..... KAWATA Kyoko
- Archives of the Drug Induced Suffering Victims, for Whom? : Understanding Based on the Research of DIS Victims Archives .....FUJIYOSHI Keiji
- Utilizing Historical Records for the Elimination of Drug-induced Diseases, an Interview with TSUJIKAWA Fumiko, General Secretary of Nationwide Liaison Council for Associations of SMON Victims
- “No More SMON,” a Special Exhibitions Archives for Environmental Studies, as a Part of the 100th Anniversary Exhibitions of the Ohara Institute for Social Research ..... KAWATA Kyoko

## Article

- Who is the Author of “Rôdôsha no koe” (The Workers’ Voice)? : Revisited ..... NIMURA Kazuo

## Introduction of Material

- About Materials in All Japan Shipbuilding and Engineering Union ..... ENOKI Kazue

## Book Reviews

- NAKAZAWA Hideo and SHIMAZAKI Naoko (eds.), *Coalmining and the Japanese Miracle : Rediscovering Multifaceted Nature of Mine, Mining and Coal* ..... TANIAI Kayoko
- SHIMADA Yoshihiro, *Housing Cost in Public Assistance : In Case of Hartz-Reform in Germany* ..... SATO Iwao

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting ..... OWADA Yuta

The Institute’s Activities in April 2019

## OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan  
web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>  
e-mail : [oharains@adm.hosei.ac.jp](mailto:oharains@adm.hosei.ac.jp)

編集(兼)発行人  
法政大学大原社会問題研究所  
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価(本体926円+税)  
年間購読 12,000円(税込)

## 【特集】薬害スモン関係資料の整理と活用

- 特集にあたって 清水善仁 1
- スモンの会全国連絡協議会・薬害スモン関係資料公開の意義と課題 川田恭子 3
- 薬害アーカイブズは誰のためにあるのか——厚労省科研共同研究の経験から 藤吉圭二 19
- 薬害根絶のために記録の活用を  
——スモンの会全国連絡協議会事務局長 辻川郁子氏に聞く 39
- 大原社会問題研究所100周年記念展示 環境アーカイブズ特別展  
「ノーモア・スモン 和解調印から40年 資料でたどる薬害の原点」報告 川田恭子 58

## ■論文

- 再論・「労働者の声」の筆者は誰か? 二村一夫 62

## ■資料紹介

- 全造船機械関係資料について 榎 一江 80

## ■書評と紹介

- 中澤秀雄／嶋崎尚子編著『炭鉱と「日本の奇跡」』 谷合佳代子 83
- 嶋田佳広著『住宅扶助と最低生活保障』 佐藤岩夫 87

社会・労働関係文献月報 92

月例研究会 大和田悠太 95

所報 2019年4月 96

発行／法政大学大原社会問題研究所  
発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1  
TEL 03(5214)5540  
郵便振替口座 00160-6-95814

大阪の地で「労働安全衛生大学」開講から40年にわたった講師団と労働者の熱意が呼応した一大研修事業の意義と全体像

労働安全衛生研修所  
40年のあゆみ

# 労働安全衛生研修所 40年のあゆみ

1970—2009

編集：「労働安全衛生研修所40年のあゆみ」編集委員会

- 第1部 40年のあゆみ  
労働安全衛生研修所のあゆみ／三戸秀樹
- 第2部 40年をふり返って  
江口治男／圓藤吟史／金澤 彰／金原清之／桑原昌宏／小木和孝  
近藤雄二／佐道正彦／徳永力雄／中迫 勝／藤原精吾／水野 洋
- 第3部 議事録・名簿  
総会・理事会・評議員会議事録／歴代役員一覧／歴代顧問一覧  
歴代講師一覧／修了者数年次推移・団体別推移
- 第4部 資料  
関連文書：財団法人労働安全衛生研修所設立趣意書ほか／梶原三郎  
講座募集案内：1970年度／1999～2001年度／2008年度  
国立生命科学センターの提唱：1978年8月  
研修所30年のあゆみ1970～2000日本語版：2000年3月  
運営資料

最新刊!

〒169-0073  
新宿区百人町3-23-1  
桜美林大学キャンパス内1F  
TEL：03-6447-1435  
FAX：03-6447-1436

公益財団法人  
大原記念労働科学研究所



図書コード ISBN 978-4-89760-335-3 C 3047

体裁 A4判函入上製 180頁  
定価 本体2,500円+税

# 日本労働研究雑誌

No.709 2019年8月号

定価 852円+税 年間購読 11,040円(税込)

## 変わるワークプレイス・変わる就労スタイル

- 提言 変容する職場の理解と職場起点の施策への転換 鈴木 竜太
- 論文 産業社会学から見た職場 立道 信吾
- ワークプレイス研究と自然的な観察の意義——ある会議場面の分析から 山崎 敬一
- 山崎 晶子
- 日本のワークプレイスのこれまでとこれから 仲 隆介
- 働く空間と働き方の関係及びその社会的背景に着目して
- 活動に合わせた職場環境の選択が個人と組織にもたらす影響
- Activity Based Working/Office とクリエイティビティ 稲水 伸行
- 近未来のワークプレイスを創り出すソーシャルテレプレゼンス技術 中西 英之
- 日本におけるテレワークの現状と今後——人間とICTとの共存はどうあるべきか 柳原佐知子
- 技術革新が「労働時間」に突き付ける課題 細川 良
- 「つながらない権利」は解決の処方箋となりうるのか 開本浩志
- 論文(投稿) 目標管理制度の運用と従業員の内発的モチベーションの関係
- 書評 Kitagawa, Akiomi 他 著 『The Changing Japanese Labor Market: Theory and Evidence』
- 論文Today 学区ストレスと教師の評価結果
- フィールド・アイ DiversityとGlobal——初めての在外研究で得られたもの(ホノルルから①) アーサー・サカモト
- 岩月 真也
- 長谷川珠子

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

☎03-5903-6255

## 有斐閣新刊案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17/Tel:03-3265-6811  
http://www.yuhikaku.co.jp/  
(表示価格は税別。消費税込みの金額が定価です。)

◎図書目録送呈◎

武田晴人著 19世紀半ばから百年余りの、日本における資本主義経済社会の生成・発展過程に焦点を合わせ、経済構造の変化を中心に概説する。論点や学説を扱うコラム、用語解説欄、写真・資料なども充実。

被災地から未来を考える  
船橋晴俊・田中重好・長谷川公一監修

震災復興と展望 ●持続可能な地域社会をめざして 予価四五〇〇円

吉野英岐・加藤眞義編 東日本大震災後、コミュニティと自治体の存続など課題は残り続けている。シリーズ最終巻。

防災と支援 ●成熟した市民社会に向けて 四九〇〇円

田中重好・黒田由彦・横田尚俊・大矢根 淳編 従来の想定に基づく防災対策が、逆に被害を拡大してしまう可能性をふまえ、地域社会がいかに対応していくべきか、社会学の知見から検討する。

原発震災と避難 ●原子力政策の転換は可能か 四二〇〇円

長谷川公一・山本薫子編 福島原発震災はなぜ起きたのか。未曾有の災害を生み出した社会的メカニズムを、現地調査を基に説明。

スモン事件と法 淡路剛久著 スモン事件の被害者の権利救済に、法はどんな役割を果たしたか。被害者、行政行動を分析し大量集団紛争の解決法にも論及。

藤倉 良・藤倉まなみ著 環境問題を正しく理解するために必要な環境科学の知識を、わかりやすく解説する好評書。

文系のための環境科学入門 新版 二二〇〇円

藤倉 良・藤倉まなみ著 環境問題を正しく理解するために必要な環境科学の知識を、わかりやすく解説する好評書。

地域から考える環境と経済 (有斐閣ストロブリア) 一九〇〇円

八木信一・関 耕平著 ●アクティブな環境経済学入門

環境問題は地域の問題——私たちの身近な地域から、環境と経済のことを考える、新しいスタイルの環境経済学入門。

ぼっぼー先生、大学生のゲンバくん・チイキさんがとくに座学で、ときに現場に赴いて学ぶ、工夫満載の楽しいテキスト。



# 労働の科学

Digest of Science of Labour

2019年7月号  
74巻7号

定価 1,200円(税込)  
年間購読 12,000円(税込)

7

## 【特集】図書館へ行こう！——図書館のちから(1)

- ◆ささえあう関係から賑わい創出の中心へ…青柳英治
- ◆司書有資格者のワーキングプア化と公契約条例の課題—非正規化が進む図書館職員問題…松井祐次郎
- ◆地域をつなぐ公共図書館の力 ……府川智行
- ◆伊万里市民図書館：まちをつくり市民とともにぞだつ市民の図書館 ……末次健太郎
- ◆町田市立図書館：地域文庫づくりを核とした図書館建設と住民とつながりあった運営 ……手嶋孝典
- ◆枚方市立図書館：障害者の利用を支える…服部敦司
- ◆ワークショップから生まれた図書館 ……新居千秋
- ◆巻頭言：言論の不自由時代の「図書館の自由」とそれを支えるもの…山口真也
- ◆産業保健の仕事に携わって・12 ……熊谷信二
- ◆凡夫の安全衛生記・30 潜んでいる力…福成雄三
- ◆につぼん仕事唄者・70 (最終回) 炭鉱仕事が生んだ唄たち(その70) ……前田和男
- ◆報告：労働時間日本学会研究集会 ……松元 俊
- ◆口絵 ディーセント・ワークを目指す職場・7 ……NPO法人まちなか/株式会社ヴィ街なか

〒169-0073

新宿区百人町3-23-1

桜美林大学キャンパス内1階

公益財団法人

大原記念労働科学研究所

TEL: 03-6447-1435

FAX: 03-6447-1436

HP: http://www.isl.or.jp/